

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和5年度下半期）

1 地域包括ケアシステムの深化・推進

(4) 日常生活を支援する体制の整備

評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	下半期実績値	年間実績値	達成度
⑧協議体開催数 ※年間合計	介護	3回	1回	1回	2回	A
		3月末までに目標値を達成する見込み（2月下旬に3回目を開催予定）。地域資源や地域ニーズについて検討することができた。				
⑨-1 生活支援コーディネーターによる地域のニーズ等把握件数 ※年間合計	介護	60件（*）	32件	34件	66件	A
		3月末までに目標値を達成する見込み（年間実績値見込み87回）。ニーズ等の把握は進んでいるが、市内に集いの場が不足していることが課題。				
⑨-2 生活支援コーディネーターによる地域資源把握件数 ※年間合計	地域	72件（*）	34件	20件	54件	A
		3月末までに目標値を達成する見込み（年間実績値見込み72回）。企業の地域貢献活動と多機関協働に注力し、多数の企業からの相談対応を行った。				

(*) 令和4年度下半期から目標値修正

⑨-1 年間目標値 72件（6件/月）→
60件（5件/月）

⑨-2 年間目標値 96件（8件/月）→
72件（6件/月）

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

A

担当部署評価

年間を通して、地域のニーズと資源の調査は進んでいる。今後は、市内に集いの場が不足しているため、地域のニーズと資源をマッチングすることにより地域活動を発展させていくよう努める。

(評価委員会評価は裏面に記載)

評価委員会評価

協議体開催数において、年間目標値は定例で開催数が決まっているため目標値を達成していることは評価できるが、質的な面も含めて評価できるよう努めてほしい。

生活支援コーディネーターが把握したニーズや地域資源をもとに、自宅から歩いて行くことのできる身近な場所に、市民のニーズに合致した「集いの場」ができるよう努めてほしい。